



9月26日の午前9時、雪舟くんで初登庁した片岡市長と拍手で出迎える人々。雪舟くんは9月末で運行を開始から半年が経過。9月の1日平均乗車数は、200人を超え約210人となり、市民の生活の足として利用されている

礼儀正しい子を育てる

障がい者の1000人雇用の実現

雪舟くん1日平均250人乗車

学校給食での市内産野菜の使用率35%に

改革断行

そうじゃ吉備路マラソンの参加者1万5000人

企業誘致

財政の健全化

地域主権を総



2期目を迎えた
片岡市政

にらみ
社流の独自施策を全国に発信

9月25日に告示された総社市長選挙で無投票により再選された片岡聡一市長が9月26日、2期目の市政に向け初登庁しました。雪舟くん登庁した市長を、市役所正面玄関前で市職員ら約150人が出迎えました。市長は「礼儀正しい子どもを育てることや障がい者の千人雇用、雪舟くんの運行など独自施策で改革の歩を進め、地域主権時代に生き残るべく、自立した市をつくっていく」と決意を言葉にしました。引き続き総合福祉センターで行われた市職員への訓示では、「一人ひとりの市民を愛し、喜ばれる取り組みをしてほしい。そのためには、総社株式会社として脱公務員の気概で、一丸となつてもにがらぼう」としました。

2期目の任期は、10月14日から4年間。